

禁裏・公家文庫研究 第四輯

田島 公 編

▶B5判・352頁／定価：9,660円（税5%込） ISBN978-4-7842-1614-7

2012年4月刊行

これまで全容が不明であった近世の禁裏文庫所蔵の写本や、公家の諸文庫収蔵本に関する論考・史料紹介・データベースを収載するシリーズの第四輯。今回は柳原家旧蔵本、陽明文庫所蔵資料の目録の翻刻も収録。

◎内 容 目 次◎

序——東山御文庫雑感——

吉岡眞之（東京大学史料編纂所特任教授・国立歴史民俗博物館名誉教授）

第一部

『言談抄』の三伝本の関係

三角洋一（東京大学大学院総合文化研究科教授）

「大日本史編纂記録」の史料的特質 鍛冶宏介（京都大学特定助教）

近世朝廷における公日記について 村 和明（三井文庫研究員）

——執次「詰所日記」の部類目録を中心に——

東山御文庫所蔵『日本紀略』と禁裏文庫の『日本後紀』

——二十巻本『日本後紀』の抄出紙片をめぐって——

志村佳名子（東京大学史料編纂所RA）

第二部

早稲田大学図書館所蔵『先秘言談抄』の書誌と翻刻

——三條西家旧蔵本『言談抄』の紹介——

田島 公（東京大学史料編纂所教授）

三条西家旧蔵『禅中記抄』中町美香子（京都大学文学部等非常勤講師）

宮内庁書陵部所蔵九条家本『定能卿記部類』八「興福寺供養」

藤原重雄（東京大学史料編纂所助教）

『公卿補任』正中元年条の復原 宮崎康充（宮内庁書陵部勤務）

第三部

翻刻『近衛家記録十五函目録』（昭和十五年四月）

尾上陽介（東京大学史料編纂所准教授）

陽明文庫所蔵『兵範記』紙背文書目録

尾上陽介

陽明文庫所蔵『勘例』内容目録

田島 公

西尾市岩瀬文庫 柳原家旧蔵資料目録（A）（B） 西尾市岩瀬文庫編

宮内庁書陵部所蔵柳原家旧蔵本目録（稿）

小倉慈司（国立歴史民俗博物館准教授）

宮内庁書陵部所蔵九条家旧蔵本目録（稿）

小倉慈司

たじま・いさお…1958年生。京都大学大学院文学研究科博士後期課程（国史学専攻）2年退学。東京大学史料編纂所教授。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 TEL075-751-1781 FAX075-752-0723

http://www.shibunkaku.co.jp/ e-mail:pub@shibunkaku.co.jp

※すでに定期購読のご注文をいただいているお客様につきましては、刊行次第、出荷いたしますので重複発注にご注意ください。また、定期購読のご登録につきまして不明な点がございましたら、小社までご連絡ください。

注 文 票		発 行：思 文 閣 出 版		(京都 取引コード 3402)	
冊 数	冊	禁裏・公家文庫研究 第四輯	本体9,200円(税別)	ISBN978-4-7842-1614-7	
	冊	禁裏・公家文庫研究 第三輯	本体11,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1414-3	
	冊	禁裏・公家文庫研究 第二輯	本体9,800円(税別)	ISBN4-7842-1293-0	
	冊	禁裏・公家文庫研究 第一輯	本体9,800円(税別)	ISBN4-7842-1143-8	
お 名 前			tel	書店番線印	
			e-mail		
ご 住 所					
送本方法	☐ 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい)				
	☐ 代 引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

書店番線印

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ※禁裏・公家文庫研究 第一輯 田島 公 編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

序——東山御文庫と書陵部——

橋本義彦

第三部

東山御文庫本『御産記 寛弘六年十一月』(小右記)の紹介

石田実洋

吉田早苗編

詫間直樹

菊地大樹

藤原重雄

明治以後における東山御文庫御物の来歴

北 啓太

近世禁裏文庫の変遷と蔵書目録

田島 公

——東山御文庫本の史料学的・目録学的研究のために——

第二部

田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』について

鹿内浩胤

——新たに発見された『小野宮年中行事裏書』——

『小野宮年中行事裏書』(田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』)

鹿内浩胤

影印・翻刻

西本昌弘

広橋家旧蔵本『叙除拾要』について

——藤原行成の除目書と思われる写本——

尊経閣文庫本『無題号記録』と東山御文庫本『叙位記 中外記』

田島 公

所引「院御書」——『院御書』の基礎的研究1——

田島 公

『秋玉秘抄』と『除目秘抄』

田島 公

——源有仁原撰本『秋次第』と思われる写本の紹介と検討——

洞院公数の出家

——東山御文庫本『洞院家今出川家相論之事』から——

末柄 豊

第四部

東山御文庫本マイクロフィルム内容目録(稿)(1)

小倉慈司

▶B5判・398頁／定価10,290円

ISBN4-7842-1143-8

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ※禁裏・公家文庫研究 第二輯 田島 公 編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

序

米田雄介

第二部

渤海南京南海府の位置推定についての考察

趙 炳舜

——『続日本紀』写本の「吐号浦」をめぐる——

東山御文庫架蔵「地下文書」の性格

飯倉晴武

——天皇と下級廷臣の世界——

書陵部所蔵宋版一切経の来歴について、その印造から現代まで

中村一紀

——時々の保全活動を交えて——

中世天皇家の文庫・宝蔵の変遷

田島 公

——蔵書目録の紹介と収蔵品の行方——

高松宮家旧蔵『伏見殿文庫記録目録』について

詫間直樹

九条本『官奏抄』の基礎的考察

石田実洋

東山御文庫本『除目部類記』所引『法性寺殿御記』『中右記』

逸文

尾上陽介

『中右記部類』年次目録

吉田早苗編

高松宮家旧蔵『定能卿記 安元御賀記』 藤原重雄・三島暁子

宮内庁書陵部蔵『叙位儀次第』(管見記第五軸) 紙背文書につ

いて 小川剛生

第三部

東山御文庫本マイクロフィルム内容目録(稿)(2)

小倉慈司

▶B5判・400頁／定価10,290円

ISBN4-7842-1293-0

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ※禁裏・公家文庫研究 第三輯 田島 公 編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

序——書陵部の想い出——

飯倉晴武

第一部

近代の禁裏・公家文庫——図書寮——

飯倉晴武

伏見宮本の変遷——書陵部での整理と書名決定——

飯倉晴武

『後円融院宸記』永徳元年・二年・四年記

桃崎有一郎

後光明天皇期における禁裏文庫

松澤克行

京都大学附属図書館所蔵『芥記』

松澤克行

近世禁裏における六国史の書写とその伝来

小倉真紀子

『執政所抄』の成立と伝来について

渡辺 滋

承安三年最勝光院供養に関する史料

藤原重雄

御賀の故実継承と「青海波小輪」について

三島暁子

——附早稲田大学図書館蔵『青海波垣代之図』翻刻——

「公卿学系譜」の研究

田島 公

——平安・鎌倉期の公家社会における口伝・故実の成立と相承——

第三部

宮内庁書陵部所蔵伏見宮本目録

小倉慈司

東山御文庫本マイクロフィルム内容目録(稿) 索引

小倉慈司

九条家本『神今食次第』にみえる「清涼御記」逸文

西本昌弘

▶B5判・496頁／定価12,390円

ISBN978-4-7842-1414-3

御堂関白記全註釈 山中裕編 【第2期全8冊】

平安時代を代表する一級史料である藤原道長の日記「御堂関白記」を原文・読み下しと詳細な註によって読み解く。

第1回(長和4年) A5判・290頁／定価6,300円 ISBN4-7842-1158-6

第2回(寛弘3年) A5判・222頁／定価5,775円 ISBN4-7842-1214-0

第3回(寛弘7年) A5判・220頁／定価5,775円 ISBN4-7842-1260-4

第4回(寛弘4年) A5判・220頁／定価5,775円

ISBN4-7842-1302-3

第5回(寛弘8年) A5判・256頁／定価6,825円

ISBN978-4-7842-1350-4

第6回(寛弘5年) A5判・180頁／定価5,250円

ISBN978-4-7842-1374-0

第7回(長和5年) A5判・458頁／定価12,075円

ISBN978-4-7842-1434-1

第8回(御堂御記抄／長徳4年～長保2年)

A5判・204頁／定価5,250円 ISBN978-4-7842-1513-3

九条家本延喜式(全五巻・既刊二冊)

東京国立博物館古典籍叢刊編集委員会編

国宝・九条家本延喜式を、紙背文書も含めて写真版で影印出版。紙背文書には新撮の高精細画像を使用し、朱書きがある箇所は二色刷とした。第五回配本に九条家本延喜式の解説と紙背文書全点の翻刻を付す。

第一巻 ▶A5判・452頁／定価15,750円 ISBN978-4-7842-1535-5

第一巻 ▶A5判・500頁／定価15,750円 ISBN978-4-7842-1594-2

日本古代典籍史料の研究

鹿内浩胤著

史書・法制史料・儀式書・部類記など歴史学の土台をなす日本古代史の基本史料を対象に、「文献学的研究」と「書誌学的研究」の二部構成で研究の方法論を提示する。著者が発見した新史料『小野宮年中行事裏書』(田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』)全丁の影印・翻刻も収録。

▶A5判・376頁／定価7,035円

ISBN978-4-7842-1552-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。